

緑の分権改革推進事業(小水力) 実証調査候補地

資料 1

市町村	箇所名	現地調査における意見	想定される発電方法 (一案)	発電に関する情報	
				予想発電量	設置に係る 全体事業費
栄村	北野天満温泉 横の湧水	<ul style="list-style-type: none"> ・選定調書で提案のあった場所は、温泉施設や公園に訪れた人からは、目につきにくい場所に。 ・水が湧き出ている近くに発電機を設置できれば、環境教育への活用や来客者に対してPRできる。 ・街灯に使用する程度であれば、流量は足りている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・湧き出た位置から樋を使って導水し、一回タンクに溜めて、滝用水車で発電する 	300W程度	約400万円
野沢 温泉村	まくね川 (雨水管渠)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の東側(上流側)に、選定調書で記載されていた規模以上の落差がある。(例えば、段差を5つ使って、10mの落差により発電する方法など、様々なケースが設定できる) ・村からは、まずは、数百W程度の実証実験を行い、その結果を住民に示しながら、今後の展開を検討していきたいとの要望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの段差を使って滝用水車で発電する 	300W程度	約500万円
箕輪町	西天龍 松島地区 (農業用水路)	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりとした落差のある場所がない。 ・底流に設置する方法、サイフォンの中に沈めて設置する方法など、あらゆる可能性を探ったが、当箇所の地形形状、いずれの方法も困難と思われる。 ・天龍川を管理する、国交省中部地方整備局(天龍川上流河川事務所)から、新たに水利権を取得する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左の理由により実施は難しい 	-	-
木曾町	水産試験場 木曾試験地	<ul style="list-style-type: none"> ・発電方法により、数百W~数十kWまで、3種類の 방법이検討できる箇所。 ・施設でほとんど電力を使用していない(街灯程度)ため、電力の活用先があまりない。 ・施設内の水は、正沢川から取水しており、なんらかの協議が必要かもしれない。 ・町の考えとしては、万郡沢を優先して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真のAの地点で取水し、Bの地点までパイプで引いて、滝用水車で発電 	数kW程度	約1,200万円
木曾町	万郡沢	<ul style="list-style-type: none"> ・流量については、今日見る限りは、0.2~0.3m³/s程度。季節によって変動がありそう。 ・駅や庁舎に近く、町民へのPRには適した場所。 ・工事を実施するとなると、安全面で足場を組むなど、通常より事業費を要する場所であり、小規模な発電には向かない ・本格的な発電を実施するとなると、設置までに1年以上を要し、多額の事業費も要するが、将来に向けて流量などを調査する価値はある 	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスフロー水車による発電 	10kW程度	約2,000万円